

向陽中学校 学校運営協議会

第35号

下より



学校運営協議会の 立ち位置



小幡 徹

短い間で残念ですが、学校運営協議会の委員を辞任することになりました。委員として在任中いつも考えていたことについて少し書いてゆくことにします。

それが表題の件です。学校運営協議会は、決して学校の運営に直接協力したり、実行を担ったりするのではなく、第三者的立場で学校全体の運営に協力してゆくという立場に立っていると思っていました。

学校は、基本的に教える側の立場と教えられる立場とに分れています。それらが円滑に動いてゆくため、第三者の機関として学校運営協議会が、その両側を繋ぐために有ると思っていました。

学校運営協議会として学校の日々の様子や運営方針・教育計画などに意見を述べる。一方生徒や保護者の意見聴取の方法としてアンケートというのを行い学校内の制度や施設不備や不都合を汲み上げて、学校や区教育委員会に提案して解決を求めてゆく等々が見てきたものです。

アンケートというのを区や学校以外に加えて行っている事に、時間を取って無駄とか疑問・批判が有りました。しかし学校運営協議会も含め、それぞれ微妙なバイアスが掛かっている事に気づきました。

それはアンケートや面談などを通して対話や意見交換を行っていても、必ず教える側

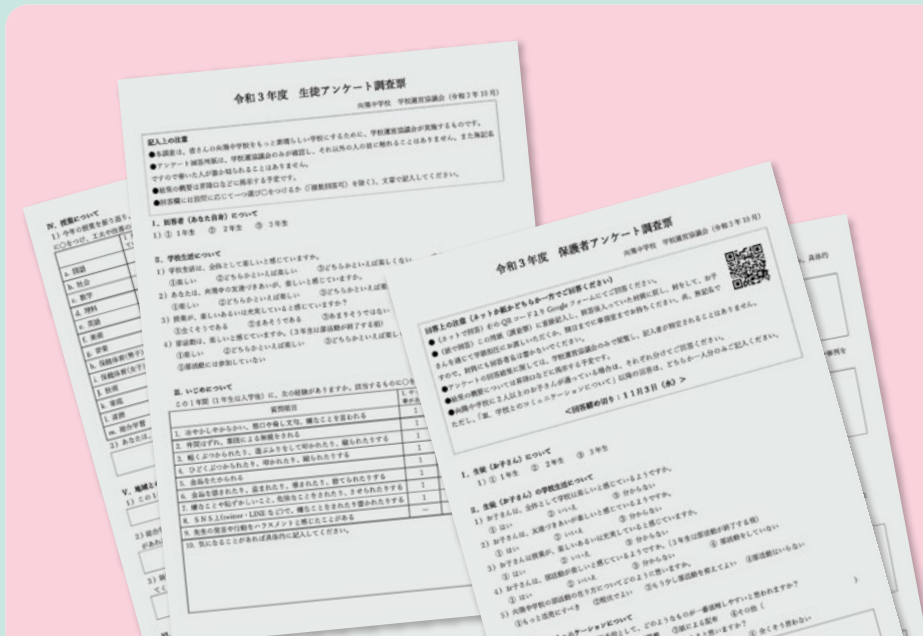
と教わる側のバイアスが、「言えない意見」の存在を作り、「第三者である学校運営協議会」ならではの立場に向けられた、ある意味で保護者や生徒の期待や最後の望みとして向けられる様な気がしました。

その点で他との類似性が問われ、行き詰まった感のある3つ目の学校運営協議会アンケートのこれからの存在価値があると思いました。

その小さな試みの一つが、今年度の学校運営協議会アンケートのいじめの記載にあったのを気づかれた保護者も多いと聞いています。

批判の無い組織はあり得ない。批判を受けつけない組織は存在するべきではない。その中で建設的な形が出来上がってゆくのだと思っています。

今後の第三者機関としての学校運営協議会の活動に期待します。



アンケート用紙

今後も、皆様からの貴重なご意見をもとに学校と協議を重ねてまいります。
 なお、保護者の皆様から寄せられた疑問・意見・要望の中には、生徒から正確な情報が伝わっていないと思われるものも見受けられました。保護者の皆様におかれましては、アンケート調査の趣旨をお汲み取りいただき、引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

アンケート調査結果の詳細は、学校の東昇降口に掲示いたします。今後も、アンケートによる正確な事実・認識の把握をもとに、保護者の皆様とともに生徒の学習環境の向上に努めてまいります。

01 学校運営協議会 令和3年度アンケート調査

向陽中学校学校運営協議会では、平成17(2005)年より生徒・保護者の皆様に独自でアンケート調査を行っており、今年度で17回目となります。
 本アンケートは、日頃届きにくい生徒・保護者の声を直接把握することにより、問題点を早期に発見し、改善・予防に繋げることを目的としています。

今回のアンケートでは、毎年ご指摘のある「置き勉」や、安全対策の課題、行事参観への要望などについてのご意見をいただきました。
 頂戴したご意見は、学校と共有し、引き続き、対応を検討してまいります。
 3月11日(金)には、PTA執行部の皆様を中心に保護者向け説明会を行いました。



保護者向け説明会(リモート画面)

02 杉並区教育委員会への意見・要望

プール更衣室の改修等について

プールの更衣室が汚く・臭いとの声が多く生徒から寄せられました。学校運営協議会委員が皆で確認しましたが、換気・排水に問題が有るように見えます。老朽化により状態が悪化しているものと考えられます。また、非常に狭い為全員は入れず、女子生徒の一部も体育館の更衣室で着替え、プールまでグラウンドを走って横断することが以前から続いています。このままで良いとは思えず、専門のご担当者による検分の上、修繕・改築のご検討をお願い致します。

回答

学校整備課が実地検分を行い、排水工事と換気扇取替等の改修を順次行う予定。
 令和2年10月25日
 施工完了

学校施設の防犯対策の強化

学校施設の防犯対策(security)の強化を求める声が保護者から上がっています。外部からの侵入者に対して確認・チェックが充分に出来る構造・体制に無い事を懸念するものです。当校のみで対応出来るものではありませんので、文部科学省の指針と現場実態との整合性を検証して頂き、善処して下さいようお願い致します。

回答

実現していません。
 ひき続き要望中。

第6回 9月29日

学校よりパラリンピック学校連携観戦が無事終了し、参加した生徒たちにとって貴重な体験となったと報告があった。

3年生対象の全国学力調査と1・2学年の区調査において、本校は概ね平均越えであること、9月末まで緊急事態宣言であったが、10月より通常の教育活動に戻る予定と報告があった。

質疑応答

Q. 都内小学校で学校支給のタブレット端末のチャット機能によるいじめを受けたというニュースがあった。タブレット端末のチャット機能はどのようなものか教えてください。

A. 本校では、Microsoft Teamsでのみチャット機能を使うことがある。クラス毎にチームをつくらせて授業配信を行う中で、インターネットのつながりの不具合を報告したり、授業受信者から教員へ質問したりすることなどで使ったことがある。やり取りの内容は教員がチェックしており、悪口などの書き込み事案は発生していない。

第7回 10月19日

校外の施設で開催された向陽祭が無事終了、杉並区食育推進事業「すぎなみ朝ベジごはん」に本校生徒2名が最終審査に残ったこと、3学年保護者への進路説明会、新入生保護者説明会に多数参加があったことなど報告があった。

質疑応答

Q. 文部科学省が、不登校とみなされた小中学生が過去最多となったとの調査結果を発表したが、中学生の不登校が13万人とのこと。向陽中でも不登校生徒は増加しているのか。また不登校の要因は、コロナ禍が関係しているなど、どのような傾向があるのか。

A. 本校の傾向としては、コロナ禍による不登校増加の状況はない。現在不登校の生徒は、それぞれ異なる要因を複数もっていることが多い。それぞれの生徒にあった学びの支援をしていくことが大切であり、オンラインでの授業参加なども活用している。

第8回 11月19日

運動会が無事終了。連合文化祭への参加や、小学生の中学校体験プログラムで生徒会役員が立派に対応していたこと、教職員を対象とした

ジェンダー教育研修会を実施したことなど報告があった。

本会が毎年行っている生徒・保護者アンケート調査を実施した。

質疑応答

Q. 給食について伺います。

①決められている単価(いくらで作らなければならないか)

②栄養士からの要望

③味やメニュー構成についての校長先生の率直な感想・意見をお聞かせください。

A. 通常は1食単価329円、多様化給食は428円。給食をいただく中学生が一日一献立における一人当たりの塩分摂取量は2.5g。杉並区では、月平均3.0gで標準献立を作成しているため、杉並区内の給食は月平均3.0gを上限としている。栄養士からは、調味料8割の段階で味見し、カレー粉、スパイス類、お酢、出汁をしっかりきかせるなど塩分に響かない調味料を使って味が感じられるように工夫していると聞いている。非常においしいと好評でこれまで味が薄すぎたことはない。12月1日に学校給食運営協議会があり、CS会長とPTA会長が参加予定。ぜひ試食後のお声をいただきたい。

Q. 令和4年度から都内全公立中学校第3学年生徒に対して『中学校英語スピーキングテスト』を実施し、その結果を都立高校入試に活用することになった。向陽中学校での英語スピーキングに対する取り組み、強化策、次年度に向けての課題などについて教えてください。

A. 10月2日に3年生対象にプレテストが行われたが、現2年生が受験する次年度から本格導入される。本校では昨年度からパフォーマンステストを各学期1回全学年で実施しているが、今後は回数を増やしたり、英検IBAの活用、授業内での5分間トークの実施など、様々な角度から継続的に取り組んでいく予定。

第9回 12月20日

全校道徳にて「多様な性の在り方について考える」というテーマを実施、1・2年の校外学習が計画通り終了、「こころのつながりプロジェクト」に3学年の日本介助犬協会との交流を掲載予定との報告があった。また、教員の資質・能力育成のための取り組みについて説明があった。

質疑応答

Q. 『向陽中だより』第7号の中で紹介されている『ひまわりノート』に関して、具体的にはどのようなものなのか、また生徒総会で出された成果と課題などについて教えてください。

A. 『ひまわりノート』は、各クラス日々輪番制で記入しており、当番になった生徒は「いじめ0%5ヶ条」と「対コロナ5ヶ条」を実践させるために、その日に取り組みたいことを朝書いて発表し、帰り学活でその日にできたことを書いて発表している。生徒総会では、生徒会長が「相手を傷つけるような発言はやめよう」と話すなど、有効に運用できている。

第10回 1月31日

スキー移動教室が無事終了、次年度から英語・国語・書写にデジタル教科書を導入する予定と報告があった。

第11回 2月22日

区事業「自律的・協働的な学校づくり」予算に、わくわくレッスン合唱を申請したとのこと。向陽祭直前の技術指導だけでなく「地域の方の生き方を学ぶ」というねらいがあるとの説明があった。

近隣である都立中央ろう学校と、教職員同士・生徒同士の交流会が行われたと報告があった。生徒及び保護者アンケートの調査結果に関し、「アンケートのポイント」と「指摘・意見についての回答」を確認、3月に保護者説明会を行う予定。

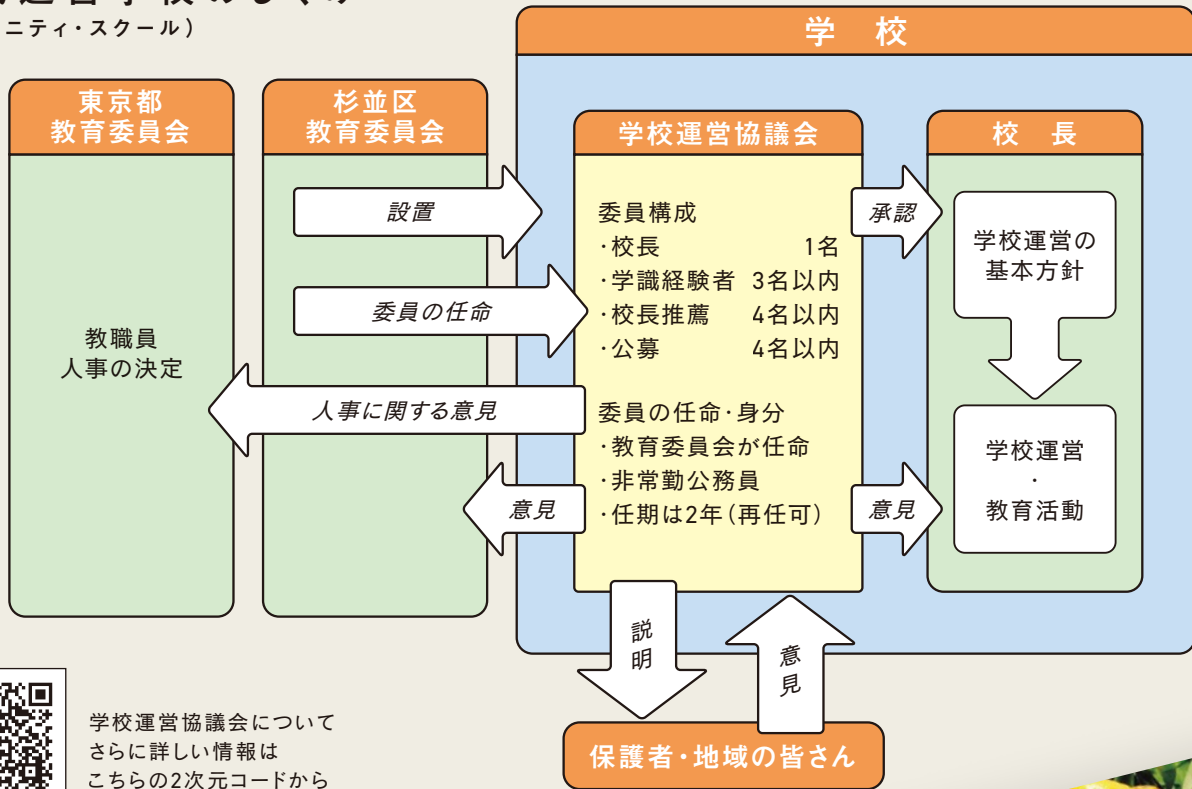
質疑応答

Q. 世の中の流れに合わせ生徒全員『さん付け』で呼んではいかがでしょうか。すぐにできなければまず新1年生から始める手もあるのでは。卒業して3年経てば選挙権を持ちます。大人扱することは大切ではないでしょうか。

A. 一部若手教員の生徒の呼び方が課題。一人の教員が一部の生徒をあだ名で呼んだり、他の生徒を「～さん」付けしたりする呼び方が生徒間の望ましい人間関係の構築に寄与できていない。このことについてあだ名で呼ぶことを解消するよう指導している。全生徒を「～さん」で呼ぶことについては、校長から実践中。委員からご指摘のあった「～さん付けにすることで、2～3年後には選挙権をもつようになる生徒を子供扱することなく大人として接する」ことの教育的意義を本校教職員に伝えていく。

地域運営学校のしくみ

(コミュニティ・スクール)



学校運営協議会について
さらに詳しい情報は
こちらの2次元コードから



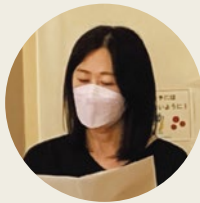
Topics!

わくわくレッスン

11月13日(土)3校時に、3年生を対象に地域在住の専門家の方々から合唱曲の歌唱指導をいただきました。向陽祭を前にプロの方による指導を受けることは、今まで自分たちでは気付かなかった新たな発見等がたくさんありました。少しでも上達したいという思いを子ども達から強く感じたとお声もいただき、とても有意義な時間となったのではないかと思います。今後は、向陽祭の前の技術指導だけではない関わり方を検討していきたいと学校側よりいただきました。ご指導いただきました声楽家の小貫岩夫様、小貫美樹様、永井美奈子様ありがとうございました。



レッスン風景



3年A組「友～旅立ちの時」
永井美奈子さん



3年B組「君の隣にいたいから」
小貫岩夫さん



3年C組「結」
小貫美樹さん

Topics!



12月15日付の杉並区報に当会の委員である十亀章子さんが、向陽中学校運営協議会についてインタビューを受けた様子が掲載されています。